

# 令和5年度LCA日本フォーラム総会資料

第1号議案	LCA日本フォーラム役員の選任	1
第2号議案	令和4年度活動報告書	3
第3号議案	令和4年度収支決算書	17
第4号議案	令和5年度活動計画書	19
第5号議案	令和5年度収支予算書	23
第6号議案	会費規則の改訂	25

参考資料1 令和5年度 専門委員会名簿

参考資料2 LCA日本フォーラム規約

令和5年6月28日

LCA日本フォーラム  
事務局：一般社団法人産業環境管理協会



令和5年度LCA日本フォーラム役員

(敬称略)

会長：

いなば あつし  
稲葉 敦 一般社団法人日本LCA推進機構 理事長

副会長：

あだち よしひろ  
足立 芳寛 東京工科大学 客員教授

(旧) なすの ふとし  
奈須野 太 経済産業省 産業技術環境局長

(新) はたけやま ようじろう  
畠山 陽二郎 経済産業省 産業技術環境局長

おおつ けいじ  
大津 啓司 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長  
本田技研工業株式会社 常務執行役員

(旧) おがわ ひろゆき  
小川 博之 一般社団法人日本鉄鋼連盟 環境・エネルギー政策委員会 委員長  
JFE スチール株式会社 代表取締役 副社長

(新) ふくしま ひろのり  
福島 裕法 一般社団法人日本鉄鋼連盟 環境・エネルギー政策委員会 委員長  
JFE スチール株式会社 代表取締役 副社長

おかむら たかよし  
岡村 隆吉 一般社団法人日本経済団体連合会  
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部会 部会長代行  
太平洋セメント株式会社 常務執行役員

げんち ゆたか  
玄地 裕 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
安全科学研究部門 研究部門長

監事：

ほそかわ ひろゆき  
細川 浩之 一般社団法人セメント協会 生産・環境部門

ないとう やすひろ  
内藤 泰裕 キヤノン株式会社 サステナビリティ推進本部 環境技術部  
LCA・環境技術課長



## 令和4年度活動報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 1. 会議関係活動

## 1-1. 総会

◇令和4年 6月 15日 於 ハイブリッド(web会議システム(Zoom))  
 令和3年度活動報告書(案)、令和3年度収支決算書(案)、令和4年度活動計画書(案)  
 及び令和4年度収支予算書(案)を審議し承認した。

<令和4年度役員(敬称略)>

- |         |        |  |
|---------|--------|--|
| 1. 会長:  | 稲葉 敦   | 一般社団法人日本LCA推進機構理事長   |
| 2. 副会長: | 足立 芳寛  | 東京工科大学 客員教授  |
|         | 畠山 陽二郎 | 経済産業省 産業技術環境局長   |
|         | 小川 博之  | 一般社団法人日本鉄鋼連盟<br>環境・エネルギー政策委員会 委員長<br>JFE スチール株式会社 代表取締役 副社長        |
|         | 岡村 隆吉  | 一般社団法人日本経済団体連合会<br>環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部会 部会長代行<br>太平洋セメント株式会社 常務執行役員 |
|         | 大津 啓司  | 一般社団法人日本自動車工業会 環境技術・政策委員会委員長<br>本田技研工業株式会社 常務執行役員                  |
|         | 玄地 裕   | 国立研究開発法人産業技術総合研究所<br>安全科学研究部門研究部門長                                 |
| 3. 監事:  | 細川 浩之  | 一般社団法人セメント協会 生産・環境部門 リーダー  |
|         | 内藤 泰裕  | キヤノン株式会社 サステナビリティ推進本部<br>環境技術部 LCA・環境技術課 課長                        |

## 1-2. 運営委員会

1回開催し、総会付議事項等について審議、承認した。

◇第1回 令和4年 5月24日 於 web会議システム(Teams)

出席: 委員 18名、オブザーバー1名 事務局 2名

議題:

- 1) (報告)DB海外対応WG: 「The Global LCA Data Access(GLAD) Network」への対応について
- 2) (報告)DB 海外対応WG: 工業会向けセミナー/説明会について
- 3) (審議)総会付議事項について(総会上程案)
  - 第1号議案 令和4年度LCA日本フォーラム役員
  - 第2号議案 令和3年度活動報告書
  - 第3号議案 令和3年度収支決算書
  - 第4号議案 令和4年度活動計画書
  - 第5号議案 令和4年度収支予算書
- 4) 水谷委員からの「ネット特別授業」のご提案

### 1-3. LCA/DB委員会

1回開催し、LCA日本フォーラムデータベース活用状況の確認と連結データの継続作業について報告、検討した。

◇第1回 令和4年 5月18日 於 web会議システム(Teams)

出席：委員 12名、オブザーバー 3名、事務局 1名

議題：

- 1) データベース更新実績・整備事業(継続)報告
- 2) JLCA-LCAデータベース活用状況報告
- 3) JLCA データの GLAD への登録報告及び計画(案)
- 4) その他(総会セミナーの開催、工業会向け説明会(案)など)

### 1-4. 情報企画委員会

2回開催し、セミナー開催、ニュースレター発行計画及び情報発信等の普及活動について検討した。

◇第1回 令和4年 10月17日 於 web会議システム(Zoom)

出席：委員 6名、事務局 1名

議題：

- 1) JLCA セミナー開催について  
(報告)令和4年度セミナー開催実績(上半期中間報告)  
(検討)令和4年度下半期セミナー開催計画
- 2) JLCA ニュースレターについて  
(報告)令和4年度ニュースレター上半期発行実績  
(検討)令和4年度ニュースレター下半期発行計画
- 3) その他情報発信、会員サービスについて

◇第2回 令和5年 3月14日 於 web会議システム(Zoom)

出席：委員 8名、事務局 1名

議題：

- 1) JLCA セミナー開催について  
(報告)令和4年度セミナー開催実績  
(検討)令和5年度セミナー開催計画
- 2) JLCA ニュースレターについて  
(報告)令和4年度ニュースレター発行実績  
(検討)令和5年度ニュースレター発行計画
- 3) その他情報発信、会員サービスについて

### 1-5. LCA日本フォーラム表彰選考委員会

「令和4年度 第19回LCA日本フォーラム表彰」に関する各賞の最終選考を行った。

◇令和4年 12月8日 於 産業環境管理協会6-F 会議室及びweb会議システム(Teams)

出席：委員 9名、事務局 2名

議題：

- 1) 表彰選考 WG による一次審査結果の報告
- 2) 第19回 LCA 日本フォーラム表彰の最終選考・審議

### 1-6. LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

4回開催し、「令和4年度第19回LCA日本フォーラム表彰」に関する募集要項及び審査基準を検討し、応募申請内容の事前審査を行い、その結果をLCA日本フォーラム表彰選考委員会に提出した。

◇第1回 令和4年 5月16日 於 web会議システム(Teams)

出席：委員 6名、事務局 1名

議題：

- 1) 令和3年度 第18回LCA日本フォーラム表彰の総括(報告)
- 2) 令和4年度 第19回LCA日本フォーラム表彰の概要(検討)

◇第2回 令和4年6月6日 於 web会議システム(Teams)

出席：委員 6名、オブザーバー 3名、事務局 1名

議題：

- 1) 応募増のための検討
  - 1.募集要項・応募申請内容について
  - 2.審査基準

◇第3回 令和4年6月13日 於 web会議システム(Teams)

出席：委員 7名、オブザーバー 3名、事務局 1名

議題：

- 1) 応募増のための検討
  - 1.募集要項・応募申請内容について
  - 2.審査基準

◇第4回 令和4年11月25日 於 web会議システム(Teams)

出席：委員 7名、事務局 1名

議題：

- 1) WG委員による事前審査について(報告)
- 2) 一次審査：受賞候補者の選出について(WG審議)

◇事前審査 委員 7名

### 1-7. JLCA-DB 海外対応ワーキンググループ

2回開催し、「The Global LCA Data Access(GLAD) Network」への対応について審議した。

◇第1回 令和4年 4月27日 於 web会議システム(Zoom)

出席：委員 7名、オブザーバー 1名、事務局 1名

議題：

- 1) GLAD:昨年度の活動報告
- 2) 今年度の対応について
- 3) その他

◇第2回 令和4年5月20日 於 web会議システム(Zoom)

出席：委員 7名、オブザーバー 2名、事務局 1名

議題：

- 1) 工業会向けセミナー/説明会について

## 2. JLCAデータベース管理活動

### 2-1. データベース運用実績

ログイン実績		2,236件 (前年 3,426件)
ダウンロード実績		316件
ページ閲覧実績	工業会データ	1,965件 (前年 5,132件)
	連結データ	342件 (前年 999件)

### 2-2. データ新規追加・更新状況

令和4年度の更新はなかった。

#### ■LCA連結データ公開(2021年10月)「CradletoGate」のインベントリデータ(250品目)

(※ 上流データ、IDEAの更新)

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 日本化学工業協会           | 12. エンプラ技術連合会*     |
| 2. 日本自動車部品工業会*        | 13. 日本ソーダ工業会*      |
| 3. 日本ガス協会*            | 14. 合成樹脂工業会*       |
| 4. 情報通信ネットワーク産業協会     | 15. 全国段ボール工業組合連合会* |
| 5. 日本アルミニウム協会*        | 16. カーボンブラック協会     |
| 6. 日本建設業連合会(H30年度更新)* | 17. 塩ビ工業・環境協会*     |
| 7. 日本電機工業会*           | 18. 電子情報技術産業協会*    |
| 8. 日本製紙連合会            | (令和元年度9件新規追加)      |
| 9. 日本産業・医療ガス協会*       | 19. 日本電線工業*        |
| 10. プラスチック循環利用協会      | 20. 日本壁装協会         |
| 11. 日本ゴム工業会*          | 21. 炭素繊維協会         |

### 2-3. 「データベース整備事業」継続

LCA日本フォーラムでは、平成27年度に「データベース整備事業」が実施され、工業会データとIDEAとの上流連結作業を行った「LCA連結データ」を整備した。これにより、「LCA連結データ」は、工業会等から提供されている「インベントリ分析用データベース(工業会データ)」に、IDEAver.2(H29.10)を連結計上した、プロセス合算型(Cradle-to-Gate)データとなっている。これらのデータは、平成28年度に公開(会員限定)された。上流データであるIDEAがver.2からIDEAver.3に更新されたため、連結データの上流部分を更新し、令和4年10月に公開した(一部工業会については、工業会データの更新中などの理由から更新保留中)。



### 3. 研究会・研修活動

#### 3-1. 「GHGの削減貢献量算定」研究会

委員長 醍醐 市朗(東京大学大学院工学系研究科 特任准教授)  
 委員 本下晶晴(国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員)  
 委員 稲葉 敦(一般社団法人日本LCA 推進機構 理事長)  
 WGメンバー 株式会社デンソー 住友化学株式会社  
 TDK株式会社 帝人株式会社  
 キヤノン株式会社 三菱電機株式会社  
 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

##### ◇「GHGの削減貢献量算定」研究会 実施内容

GHGの削減貢献量の算定方法の解説、指導、事例研究の解釈と考察を進めた。

第10回 令和4年 4月 12日 於 web会議システム(Teams)  
 第11回 令和4年 6月 28日 於 web会議システム(Teams)  
 第12回 令和4年 9月 5日 於 web会議システム(Teams)

#### 3-2. 「プラスチックのリサイクルを考える」研究会

委員長 中谷 隼(東京大学大学院工学系研究科 講師)  
 副委員長 森 史也(みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社)  
 WGメンバー 花王株式会社 東罐興業株式会社  
 大日本印刷株式会社 日本電気株式会社  
 太平洋セメント株式会社 積水化学工業株式会社  
 ユニチカ株式会社 味の素株式会社  
 日揮グローバル株式会社 日揮ホールディングス株式会社  
 ENEOS 株式会社 日本環境設計株式会社

##### ◇「プラスチックのリサイクルを考える」研究会 実施内容

プラスチックに係る算定方法の解説、指導、事例研究の解釈と考察を進めた。

第18回 令和4年 5月 24日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(Zoom)

#### 3-2. 「プラスチックのリサイクルを考えるII」研究会

委員長 中谷 隼(東京大学大学院工学系研究科 講師)  
 副委員長 森 史也(みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社)  
 WGメンバー AGC 株式会社 株式会社TBM  
 株式会社エフピコ 東レ株式会社  
 花王株式会社 東罐興業株式会社  
 住友化学株式会社 日本製鉄株式会社  
 積水化学工業株式会社 三笠産業株式会社  
 太平洋セメント株式会社 ユニチカ株式会社  
 大日本印刷株式会社 株式会社レゾナック・ホールディングス  
 (旧:昭和電工株式会社)

##### ◇「プラスチックのリサイクルを考えるII」研究会 実施内容

プラスチックに係る算定方法の解説、指導、事例研究の解釈と考察を進めた。

第1回 令和5年 1月 19日於 アーバンネット神田カンファレンス及びweb会議システム (Zoom)

第2回 令和5年 3月 22日於 航空会館及びweb会議システム (Zoom)

### 3-3. カーボンリムーバル・リサイクル技術(CR2)研究プロジェクト

WG メンバー	山本 良一	東京大学 名誉教授
	山地 憲治	東京大学/地球環境産業技術研究機構(RITE)
	稲葉 敦	工学院大学 先進工学部 環境化学科 教授
	小野 透	日鉄総研株式会社
	磯原 豊司雄	日本製鉄株式会社
	山本 博巳	一般財団法人電力中央研究所
	黒沢 厚志	一般財団法人エネルギー総合工学研究所
	加藤 悦史	一般財団法人エネルギー総合工学研究所
	河尻 耕太郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	杉山 昌広	東京大学 未来ビジョン研究センター
	桑江 朝比呂	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
	岸本 文紅	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
	伊藤 昭彦	国立研究開発法人国立環境研究所
	伊坪 徳宏	東京都市大学環境学部環境マネジメント学科教授
	高橋 伸英	信州大学 繊維学部教授
	小田 潤一郎	秋田大学国際資源学部資源政策コース

#### ◇「カーボンリムーバル・リサイクル技術(CR2)研究プロジェクト」 LCA 算定 WG

座長	加藤 悦史	一般財団法人エネルギー総合工学研究所
	小田 潤一郎	秋田大学国際資源学部資源政策コース
	古島 康	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
	稲葉 敦	工学院大学 先進工学部 環境化学科 教授

#### CR2技術のLCA 算定

第1回 令和4年 6月 1日 於 web会議システム (Zoom)

第2回 令和4年 7月 4日・7月 7日 於 web会議システム (Zoom)

第3回 令和4年 9月 7日・9月 12日 於 web会議システム (Zoom)

第4回 令和4年 12月 19日・12月 20日 於 web会議システム (Zoom)

LCA 算定実施は、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 事業の「ムーンショット型研究開発事業」と連携し、この事業で技術開発されている 6 つの DAC 技術のプロジェクトマネージャーにご協力いただいた。

大気中からの高効率 CO<sub>2</sub> 分離回収・炭素循環技術の開発

国立大学法人金沢大学 児玉 昭雄

“ビヨンド・ゼロ”社会実現に向けた CO<sub>2</sub> 循環システムの研究開発

国立大学法人九州大学 藤川 茂紀

冷熱を利用した大気中二酸化炭素直接回収の研究開発

国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 則永 行庸

CAS\*研究開発プロジェクト

(\*C4S: Calcium Carbonate Circulation System for Construction (建設分野の炭酸カルシウム循環システム)

国立大学法人東京大学 野口 貴文

大気中CO<sub>2</sub>を利用可能な統合化固定・反応系(quad-C system)の開発

国立大学法人東北大学 福島 康裕

電気化学プロセスを主体とする革新的CO<sub>2</sub>大量資源化システムの開発

国立大学法人東京大学 杉山 正和

### 3-4. JLCA-LCA研修

LCA研修(入門コース)を3会場にて5回実施した。

#### ◇東京会場

日時① 令和4年6月29日 参加者: 56名  
運営: 産業環境管理協会(LCA日本フォーラム事務局)  
講師: 一般社団法人 日本電機工業会 齋藤 潔 氏  
場所: web会議システム(Zoom)  
日時② 令和5年2月9日 参加者: 25名  
運営: 産業環境管理協会(LCA日本フォーラム事務局)  
講師: 一般社団法人 日本電機工業会 齋藤 潔 氏  
場所: TKP 神田駅前ビジネスセンター

#### ◇名古屋会場

日時① 令和4年8月25日 参加者: 7名  
運営・講師: 株式会社フルハシ環境総合研究所  
場所: 名古屋都市センター(名古屋市)  
日時② 令和4年12月6日 参加者: 43名  
運営・講師: 株式会社フルハシ環境総合研究所  
場所: web会議システム(Zoom)

#### ◇大阪会場

日時 令和4年10月28日 参加者: 18名  
運営・講師: 特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター  
場所: おおきに南船場ビル(大阪市)

## 4. 普及・情報交流活動

### 4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催

LCA日本フォーラムが主催のセミナーを7回企画・開催した。

- ① 令和4年度 LCA 日本フォーラム総会セミナー「プラスチックのリサイクルを考える」研究会  
成果報告会  
日時: 令和4年6月15日 14:15~17:00  
場所: web会議システム(Zoom)  
参加者: 約170名  
内容: LCA 日本フォーラム「プラスチックのリサイクルを考える」研究会にて2年間にわたって議論してきた内容をもとに、リサイクルやバイオマス原料の導入を含むプラスチック資源循環による

## 第 2 号議案

CO2 排出の削減効果を LCA によって評価するための課題を整理して、それらに対する対応方法について提示した。

はじめに：プラスチック資源循環の LCA の枠組みと論点

東京大学 中谷 準

テーマ①：バイオマス原料の評価 ～炭素吸収をマイナス？ 炭素排出をノーカウント？

バイオマスプラスチックとポリカーボネートの比較

日本電気株式会社 田中 修吉

原料 PP を化石資源由来からバイオマス由来に変更

東罐興業株式会社 角田 浩太郎

テーマ②：シナリオの設定 ～資源循環しなかったら？ 新規原燃料を使っていれば？

廃プラスチックを利用したセメント生産の評価

太平洋セメント株式会社 杉澤 建

廃プラ油化リサイクルの LCA 検討

ENEOSホールディングス株式会社 小倉 俊

再生プラスチック原料を使用したインフラ製品評価

積水化学工業株式会社 三浦 仁美

テーマ③：削減効果あれこれ ～再生原料・製品を機能単位とした評価では要注意！

ペットボトルのモノマテリアルサイクルの評価

株式会社 JEPLAN 石津 縁

ケミカルリサイクルによるオレフィン製造の評価

昭和電工株式会社 宮武 正人

モノマテリアル包材によるリサイクル性向上の評価

大日本印刷株式会社 濱田 倫

パネルディスカッション：

プラスチック資源循環の LCA に残された課題

進行：みずほリサーチ&テクノロジーズ 森 史也

おわりに：研究会活動の今後の展開

東京大学 中谷 準

### ② 「LCA インベントリデータ、サプライチェーンデータ活用の動向と課題」セミナー

日時： 令和4年7月26日 13:00～17:00

場所： web会議システム(Teams)

参加： 176名

内容：「ライフサイクルインベントリデータ及びそのデータベース」の国内外動向や課題、そして、今後の新たな展開としての「サプライチェーンデータ活用」の最新動向をフォローし、改めて LCA 評価や GHG 排出量及び CFP 算定における「データ」に焦点を当てて、その「価値」を考える契機とした。

開会挨拶： LCA 日本フォーラム運営委員長/産業総合技術研究所 玄地 裕

<第1部> 基調講演

カーボンニュートラルに向けたサプライチェーン連携、GXリーグ活動の展望等

経済産業省 産業技術環境局環境経済室 中山 竜太郎

<第2部> LCA インベントリデータ及びデータベース:開発とその課題、国際動向

ライフサイクルインベントリデータベースの国際ネットワーク化の現状と課題

～グローバル LCA データアクセスネットワーク (GLAD) 及び関連動向

TCO2株式会社 正島 宏一

ライフサイクルインベントリデータベースの開発と課題～インベントリデータベース IDEA の

開発及び関連動向

産業総合技術研究所 田原 聖隆

JLCA 工業会データの開発と課題 ～工業会データの開発、意義と展望

①鉄鋼産業における LCI データベース開発の取組み

日本鉄鋼連盟/日本製鉄株式会社 磯原 豊司雄

②電子部品業界の LCA への取組み

JEITA 電子部品/TDK 株式会社 横山 亮

<第3部> サプライチェーンデータ活用:見える化等の取組み、課題

機能樹脂製品における製品別カーボンフットプリントデータの提供

旭化成株式会社 崎田 雄大

サプライチェーン CO2 排出量「見える化」のアプローチ

グリーン×デジタルコンソーシアム/日本電気株式会社 稲垣 孝一

自動車業界における LCA の取組と課題

一般社団法人日本自動車工業会/本田技研工業株式会社 田伏 功

<第4部> パネル討議と QA

パネリスト: 2部と3部の各講師、日本 LCA 推進機構 稲葉 敦

ファシリテータ: 日本電機工業会 齋藤 潔

③ 座談会 - WBCSD の Pathfinder Framework :

Guidance for the Accounting and Exchange of Product Life Cycle Emissions と LCA

日時: 令和4年9月29日 18:00~19:00

場所: web会議システム (Zoom)

参加: 約90名

内容: WBCSD が2021年に公開した「Pathfinder Framework: Guidance for the Accounting and Exchange of Product Life Cycle Emissions」を紹介いただき、より精緻で確実な1次データによる LCA を簡単かつ安全に実施する方法について議論した。

Introduction and Background

Osamu Namikawa, Hitachi, Ltd.

About Pathfinder Framework

Anna Stanley, Director, Climate Action & Member of the Extended Leadership Group, WBCSD

LCA details of the Framework: Pilot studies and its application in practice

Cecilia Valeri, Manager, Climate Taxonomy, WBCSD

Discussion and QA

Facilitator: Norihiro Itsubo, Professor, Tokyo City University

Closing Remarks

Osamu Namikawa, Hitachi, Ltd.

④ 令和4年度 LCA 日本フォーラム 国際動向セミナー

日時: 令和5年1月23日 14:00~16:50

場所: web会議システム(Teams)

参加: 約190名

内容: カーボンフットプリントに関する動向と最新の国際規格の開発状況について紹介

カーボンフットプリントに関する政策動向

経済産業省 産業技術環境局 環境経済室 企画官 内野 泰明

「ISO TC323 について」

東京大学 大学院工学系研究科 梅田 靖

TC323 と TC207/SC5 の JointWG14 の動向について

三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

環境・エネルギーユニット/持続可能社会部

村中 潤 (一般社団法人循環経済協会)

ISO における GHG 算定・報告関連規格検討動向 ISO 14068/IWA 42/14064-1 改定の相互関係

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 工藤 拓毅

ITC207/SC7 : ISO14083 (輸送の ISO)

ヤマト運輸株式会社 社長室 戦略渉外グループ 星 雄一朗

TC207/SC5 : ISO14075 (ソーシャル LCA)

Climate Solutions Director / Persefoni Japan G.K. 高野 惇

全体の Q&A:

モデレーター: 稲葉 敦(LCA 日本フォーラム 会長)

⑤ 第19回LCA日本フォーラム表彰 表彰式及び記念講演

日時: 令和5年2月1日

13:00~14:15 第19回 LCA 日本フォーラム表彰 表彰式

14:30~16:30 第19回 LCA 日本フォーラム表彰 記念講演

場所: オンライン (Zoom 配信) 【受賞者、関係者、その他】会場:都市センターホテル

後援:経済産業省 / 日刊工業新聞社

参加: 約90名

内容: LCA表彰受賞式及び受賞企業による表彰記念講演会

【経済産業省産業技術環境局長賞】

「凸版印刷の環境影響評価と環境活動～国内、海外一体とした2050年環境ビジョン～」

凸版印刷株式会社 製造統括本部 エコロジーセンター 松井 初音

【LCA 日本フォーラム会長賞】

「DNP ライフサイクル CO2 認証システムの構築」

大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部イノベティブ・パッケージングセンター  
ビジネスデザイン本部環境ビジネス推進部第2グループ 濱田 倫

【LCA 日本フォーラム奨励賞】

「ライフサイクル CO2 排出量の算定・評価により、製品の販促・改善を目指す  
SF6 ガスフリーエコタンク形 VCB」

株式会社 明電舎 経営企画本部 サステナビリティ推進部 支配人 村越 弥之

「鋳山機械部品の新品ならびに再生品における環境影響の見える化」

日立建機株式会社 再生事業部 サーキュラーエコノミー推進部  
技術開発 Gr 主任 金澤 智尚

「鉄鋼の LCA に関する広報活動」

一般社団法人日本鉄鋼連盟 技術政策委員会 企画委員会 座長 磯原 豊司雄

「サプライチェーン GHG 排出量の管理及び削減に向けた取り組み」

九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部  
地域共生本部(環境) 部長 江口 洋之

「画像ベースインフラ構造物点検サービスの削減貢献量算定」

キヤノン株式会社 LCA・環境技術課 専任主任 花本 英俊

⑥ 非財務情報の開示:TNFD と生物多様性評価セミナー

日時: 令和5年2月27日 14:00~16:15

会場: オンライン配信(Zoom)

参加: 約170名

内容: 2021年に発足した TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures;自然関連財務情報開示タスクフォース)の紹介をするとともに、今後金融機関や企業に対して求められる自然資本に関するリスクや機会の評価と開示について議論した。

基調講演①

TNFD と環境省の取組

環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室 室長補佐 朽網 道徳

基調講演②

生物多様性とサステナビリティ経営

株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役/JBIB 理事・事務局長 足立 直樹

TNFD への参加:TNFD 開示勧告草案について

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス 原口 真

TNFD LEAP アプローチを使った自然資本評価

キリンホールディングス株式会社 CSV戦略部 小此木 陽子

⑦ Carbon Removal & Recycle (CR2)の LCA 算定 WG 報告会

日時: 令和5年3月31日 13:00~14:30

会場： オンライン配信(Zoom)

参加： 約60名

共催：化学工学会 CCUS 検討委員会

内容： カーボンリムーバル・リサイクル(CR2)技術の研究会のWGで実施したLCA算定の報告をした。

開会挨拶

一般財団法人エネルギー総合工学研究所 加藤 悦史

大気中からの高効率 CO<sub>2</sub> 分離回収・炭素循環技術の開発の LCA

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 余語 克則

電気化学プロセスを主体とする革新的 CO<sub>2</sub> 大量資源化システムの LCA

国立大学法人東京大学 杉山 正和

C4S 研究開発プロジェクトの LCA

国立大学法人東京大学 野口 貴文

冷熱を利用した大気中二酸化炭素直接回収(Cryo-DAC®)の LCA

国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 則永 行庸

“ビヨンド・ゼロ”社会実現に向けた CO<sub>2</sub> 循環システムの研究開発の LCA

国立大学法人九州大学 アンドリュー チャップマン

閉会挨拶

日本 LCA 推進機構理事長/LCA 日本フォーラム会長 稲葉 敦

【共催・後援イベント】

◇日本 LCA 学会「削減貢献量に関する講演会」

日時： 令和5年3月28日 9:30~12:00

会場： オンライン開催(ZOOM ウェビナー)

主催： 日本 LCA 学会

共催： LCA 日本フォーラム



#### 4-2. JLCAニュースレター発行

下記のとおりニュースレターを発行(ホームページ掲載)した。

- ◇第84号：令和4年 9月 (Carbon Removal & Recycle (CR2)の LCA 算定 WG 報告会)
- ◇第85号：令和5年 3月 (特集 第19回LCA日本フォーラム表彰 1)
- ◇第86号：令和5年 3月 (特集 第19回LCA日本フォーラム表彰 2)

#### 4-3. ホームページ 情報更新、普及活動

##### ◇コンテンツの情報更新

- ・JLCAデータベース：データ新規追加・更新
- ・LCA日本フォーラム表彰、セミナー、LCA研修等の募集、開催案内、開催報告

##### ◇メール情報配信 22件

LCA、環境効率関連のニュース、フォーラム主催イベント、その他関連情報を、会員に対して発信した。

## 5. LCA日本フォーラム表彰

LCA、環境効率に係わる優れた活動を表彰する「第19回LCA日本フォーラム表彰」が実施され、「経済産業省産業技術環境局長賞」、「会長賞」、「奨励賞」、「功労賞」を、下記の通り表彰した。

### 第19回LCA日本フォーラム表彰 受賞者リスト

部門	受賞者	活動の名称
<b>経済産業省産業技術環境局長賞</b>		
環境マネジメント・環境コミュニケーション部門	凸版印刷株式会社	凸版印刷の環境影響評価と環境活動～国内、海外一体とした 2050 年環境ビジョン～
<b>LCA日本フォーラム会長賞(1件)</b>		
アウトリーチ・コラボレーション部門	大日本印刷株式会社	DNP ライフサイクル CO <sub>2</sub> 認証システムの構築
<b>LCA日本フォーラム奨励賞(5件)</b>		
環境マネジメント・環境コミュニケーション部門	株式会社 明電舎	ライフサイクル CO <sub>2</sub> 排出量の算定・評価により、製品の販促・改善を目指す SF <sub>6</sub> ガスフリーエコタンク形 VCB
研究・人材育成部門	日立建機株式会社	鉦山機械部品の新品ならびに再生品における環境影響の見える化
環境マネジメント・環境コミュニケーション部門	一般社団法人日本鉄鋼連盟	鉄鋼の LCA に関する広報活動
環境マネジメント・環境コミュニケーション部門	九州電力株式会社	サプライチェーン GHG 排出量の管理及び削減に向けた取り組み
環境マネジメント・環境コミュニケーション部門	キヤン株式会社	画像ベースインフラ構造物点検サービスの削減貢献量算定

#### 【功労賞】

辰巳 菊子

(公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)元理事)

## 令和4年度LCA日本フォーラム収支決算

(単位：円)

1 一般事業収支		令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
1	会費	16,047,000	17,120,000	1,073,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = ※1 2,000,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 20 工業会 III = 600,000 @ 80,000 円× 8 団体 = 640,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 84 優先企業 A = 4,200,000 @ 30,000 円× 1 優先企業 B = 30,000 @ 80,000 円× 38 一般企業 A = ※2 3,120,000 @ 50,000 円× 26 一般企業 B = 1,300,000 @ 30,000 円× 67 一般企業 C = ※3 2,040,000 @ 30,000 円× 43 大学等 = 1,290,000 @ 13,000 円× 27 個人 = 351,000
	特別DB利用料				@ 7,000 円× 7 LCA学会会員 = 49,000
2	セミナー参加費	0	220,000	220,000	2022/6/15 総会セミナー 30,000 2022/7/26「LCA インベントリーデータ、サプライチェーンデータ活用の動向と課題」 10,000 2023/2/1 第19回LCAフォーラム表彰式・記念講演会 90,000 2023/3/31 CR2技術のLCA算定 WG報告会セミナー 90,000 2022/12/6 LCA研修<入門コース> 90,000
3	雑収入	0	189	189	※1 2021年度会費 1社（工業会 I）分を含む ※2 2021年度会費 1社（一般企業 A）分を含む ※3 2021年度会費 1社（一般企業 C）分を含む
	当期収入合計(A)	16,047,000	17,430,189		
II	支出の部				
1	委員会関係費	300,000	124,252	175,748	委員謝金 59,000 委員旅費 会場費・会議費 65,252
2	研究会活動費	2,950,000	1,731,698	1,218,302	研究会活動費（研究会3件程度） 206,788 LCA研修事業 1,524,910
3	システム維持管理費	3,130,000	3,054,821	75,179	データベースサーバー保守・管理費 950,730 レンタルサーバー利用費 92,801 ホームページ更新・管理費 288,750 連結データベース事業継続費 1,046,540 GLAD登録事業 676,000
4	セミナー・シンポジウム	2,200,000	850,723	1,349,277	講師謝金・旅費 313,000 会場費 204,820 印刷費 8,582 会議費 0 オンライン会議システム費 324,321
5	LCA表彰費	2,300,000	2,440,976	△ 140,976	委員会、審査関係費 337,000 表彰式、講演会関係費 1,919,935 広告費 184,041
6	広報誌発行費	400,000	313,000	87,000	原稿料・原稿作成費 313,000
7	国際対応活動費	1,180,000	1,171,125	8,875	海外調査 501,125 TC207協力金 20,000 エコバランス国際会議協力金 500,000 EcoDesign2023 150,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	0	日本LCA学会 100,000
9	特別事業費	2,000,000	600,000	1,400,000	CR2技術事業 600,000
10	事務局人件費	4,754,100	5,229,000	△ 474,900	事業収入額の約30% 5,229,000
11	事務局経費	913,115	911,319	1,796	事務局人件費の約15% 784,350 実費経費 126,969
	当期支出合計(B)	20,227,215	16,526,914	3,700,301	16,526,914
	当期収支差額 (A-B)	△ 4,180,215	903,275	5,083,490	
	前年度繰越金 (C)	5,282,302	5,282,302	0	
	次期繰越収支差額 (A-B+C)	1,102,087	6,185,577	5,083,490	

2 特別収支（システム更新積立金）		令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
	当期収入合計(D)	0	0		
II	支出の部				
1	一般事業収支へ移管	0	0		
	当期支出合計(E)	0	0		
	当期収支差額 (D-E)	0	0		
	前年度繰越金 (F)	7,830,000	7,830,000	7,830,000	
	次期繰越収支差額 (D-E+F)	7,830,000	7,830,000	7,830,000	

## 会計監査確認書

令和4年度 LCA 日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

令和5年4月24日

監事

東京都中央区新富2丁目15番5号  
一般社団法人セメント協会  
生産・環境部門  
リーダー

細川 浩之



令和5年4月24日

監事

東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
キヤノン株式会社  
サステナビリティ推進本部  
環境技術部 LCA・環境技術課  
課長

内藤 泰裕



## 令和5年度活動計画書 (2023年4月1日～2024年3月31日)

環境マネジメントに関する国際規格化動向、欧州委員会における環境フットプリントやGHGプロトコルにおけるScope3の進展、あるいは、自治体・工業会におけるGHG排出量の削減貢献量の取り組みなど、サプライチェーン全体を通じたLCAの活用が国内外に広がっている。近年では特にカーボンニュートラルな社会を目指すために、LCAが産業の隅々まで、より網羅的に求められてきている。

こうした中、LCA日本フォーラムは、平成10年からの第1期LCAプロジェクト以来の成果を広く我が国産業界に一元的に公開し続け、LCAの発展に欠くことのできないLCAデータベース(JLCA-DB)の利便性向上を図り、今後の在り方について広く議論を行い、さらなる発展を期すこととする。

その他、今年度も下記を柱とした活動を行う。

- ① LCAデータベース(JLCA-DB)運営管理及び積極的活用の促進
- ② LCA日本フォーラム表彰の実施
- ③ 情報発信活動としてセミナーの開催とニュースレターの発行
- ④ LCAと環境効率の研究会活動とLCA研修事業の実施
- ⑤ 国際動向の調査と情報発信

### 1. 事業内容

#### 1-1. JLCA-DB活用促進及び運営管理に係わる活動の実施

- ① 平成27年度より実施している「LCA連結データ」について、引続き問合せ対応等のフォローアップを行うほか、今後一層の活用促進のため、連結データの公開を行う意思のある工業会を対象に、連結作業を円滑に進めるための支援事業を実施する。また、上流連結のIDEAの更新に伴う連結データの更新を継続する。(支援業務の委託先:産業技術総合研究所および産業環境管理協会)
- ② The Global LCA Data Access(GLAD) Network に対するフォーラムの対応として、登録意思のある工業会のDBの登録作業をサポートする(登録作業の委託先:TCO2株式会社および産業環境管理協会)。
- ③ DBのデータを登録する入力ツールシステムおよび管理ツールシステムがWindows11に対応できていないため、これらツールを改修する。回収の具体的な方法については、データベース委員会内にWGを設置し検討を進める。
- ④ 現在のDBのセキュリティに関する要件を整理し、フォーラムのDBに適切なセキュリティを検討する。

## 1-2. LCA表彰事業活動の実施

- ① 日本国内のLCAと環境効率に係わる優れた活動を表彰する。  
「第20回LCA日本フォーラム表彰」 経済産業省産業技術環境局長賞  
LCA日本フォーラム会長賞  
LCA日本フォーラム奨励賞  
功労賞
- ② 応募期間(8月～10月)
- ③ 表彰式：受賞者の表彰式と表彰記念講演会を実施する。(2024年1月頃予定)

## 1-3. 情報発信活動の実施

- ① LCAと環境効率に関連したセミナーを3回程度開催する。
  - 総会併設セミナー:「産業のCFP」(2023年6月28日)
  - 秋季セミナー:テーマ案「デジタル製品パスポートとデータ授受に関するセミナー」/「最新ガイドラインの紹介・解説セミナー」
  - 日本LCA学会共催セミナー:国際動向に関するセミナー
- ② 小規模セミナーの開催:会員からの要望にお応えする小規模セミナーを実施
- ③ カーボンニュートラル宣言企業の応援:ホームページにてカーボンニュートラル企業の発信ページ/リンク作成
- ④ メールマガジン等により、LCAと環境効率に関連する情報の提供
- ⑤ ニュースレター発刊 年2～3刊程度

## 1-4. 研究会活動の実施

- ① 令和4年度に引き続き、下記の研究会活動の継続を実施する。
  - 「GHG削減貢献量算定」研究会
  - 「プラスチックのリサイクルを考える」研究会

## 1-5. LCA研修の実施

LCA実施者の裾野を広げるべく、データベースの継続運営、会員サービスへの強化を含めたフォーラム全体の活性化を目的とし、フォーラム主催のLCA研修(入門コース)を実施する。3つの地域会場にて各1～2回程度開催する。

- ・ 東京会場(7月13日(オンライン)、2月27日)
- ・ 名古屋会場(8月頃、12月頃(オンライン))
- ・ 大阪会場(10月26日)

## 1-6. CR2 技術研究プロジェクトの継続

昨年度に引き続き、CR2 技術の LCA 評価を普及・促進することを目的として、CR2 技術

の網羅的な調査事業を進める。本プロジェクトでは、CR2 技術の LCA 評価事例を蓄積してきたが、LCA 評価の普及・進捗は CR2 技術の特性によるところが大きい。近年安定的に発展するようになった CR2 技術の LCA 評価だけでなく、発展途上、またはこれから発展する可能性がある CR2 技術の現状を調査する。

#### 1-7. 国際動向調査と国際会議等への協力

- ① 国際動向調査としての国際会議へ専門家を派遣する。
- ② 国際会議、学会会議等への協力 (TC207、日本 LCA 学会等)

#### 2. 年間スケジュール予定

##### 総会／委員会

- ① 通常総会 年1回 (6月28日)
- ② 運営委員会 年1回程度 (5月31日)
- ③ LCA/DB委員会 年1回程度 (5月17日)
- ④ 情報企画委員会 年2回程度 (10月、3月)
- ⑤ 表彰委員会 年1回程度 (12月)
- ⑥ 表彰選考ワーキンググループ 年2回程度 (7月、11月)





令和5年度LCA日本フォーラム収支予算（案）

1 一般事業収支					(単位：円)	
	科目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額		
I	収入の部					
1	会費	16,047,000	17,120,000	16,880,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I	= 1,900,000
					@ 400,000 円× 2 工業会 II	= 800,000
					@ 600,000 円× 1 工業会 II	= 600,000
					@ 30,000 円× 19 工業会 III	= 570,000
					@ 80,000 円× 8 団体	= 640,000
					@ 100,000 円× 1 学術組織	= 100,000
					@ 50,000 円× 84 優先企業 A	= 4,200,000
					@ 30,000 円× 1 優先企業 B	= 30,000
					@ 80,000 円× 38 一般企業 A	= 3,040,000
					@ 50,000 円× 26 一般企業 B	= 1,300,000
					@ 30,000 円× 67 一般企業 C	= 2,010,000
					@ 30,000 円× 43 大学等	= 1,290,000
					@ 13,000 円× 27 個人	= 351,000
	特別DB利用料				@ 7,000 円× 7 LCA学会会員	= 49,000
2	セミナー参加費	0	310,000	0		
	<b>当期収入合計(A)</b>	<b>16,047,000</b>	<b>17,430,189</b>	<b>16,880,000</b>		
II	支出の部					
1	委員会関係費	300,000	124,252	200,000	委員謝金	100,000
					委員旅費	0
					会場費・会議費	100,000
2	研究会活動費	2,950,000	1,731,698	2,950,000	研究会活動費 (研究会2件程度)	1,400,000
					LCA研修事業	1,550,000
3	システム維持管理費	3,130,000	3,054,821	3,750,000	データベースサーバー保守・管理費	1,000,000
					セキュリティ強化調査費	1,000,000
					レンタルサーバー利用費	100,000
					ホームページ更新・管理費	300,000
					連結データベース事業継続費	1,050,000
					GLAD登録事業	300,000
4	セミナー・シンポジウム	2,200,000	850,723	1,700,000	講師謝金・旅費	300,000
					会場費	900,000
					印刷費	300,000
					会議費	100,000
					オンライン会議システム費	100,000
5	LCA表彰費	2,300,000	2,440,976	2,500,000	委員会、審査関係費	500,000
					表彰式、講演会関係費	1,700,000
					広告費	300,000
6	広報誌発行費	400,000	313,000	300,000	原稿料・原稿作成費	300,000
7	国際対応活動費	1,180,000	1,171,125	1,180,000	海外調査	500,000
					TC207協力金	30,000
					エコバランス国際会議協力金	500,000
					EcoDesign2023	150,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	100,000	日本LCA学会	100,000
9	特別事業費	2,000,000	600,000	1,300,000	CR2技術事業	900,000
					企業・工業会支援事業	400,000
10	事務局人件費	4,754,100	5,229,000	5,064,000	事業収入額の約30%	5,064,000
11	事務局経費	913,115	911,319	959,600	事務局人件費の約15%	759,600
					実費経費	200,000
	<b>当期支出合計(B)</b>	<b>20,227,215</b>	<b>16,526,914</b>	<b>20,003,600</b>		<b>20,003,600</b>
	<b>当期収支差額 (A-B)</b>	<b>△ 4,180,215</b>	<b>903,275</b>	<b>△ 3,123,600</b>		
	<b>前年度繰越金 (C)</b>	<b>5,282,302</b>	<b>5,282,302</b>	<b>6,185,577</b>		
	<b>次期繰越収支差額 (A-B+C)</b>	<b>1,102,087</b>	<b>6,185,577</b>	<b>3,061,977</b>		

2 特別収支（システム更新積立金）					(単位：円)	
	科目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額		
I	収入の部					
	当期収入合計(D)	0	0	0		
II	支出の部					
1	DBツール改修費	0	0	7,830,000		
	<b>当期支出合計(E)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,830,000</b>		
	<b>当期収支差額 (D-E)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 7,830,000</b>		
	<b>前年度繰越金 (F)</b>	<b>7,830,000</b>	<b>7,830,000</b>	<b>7,830,000</b>		
	<b>次期繰越収支差額 (D-E+F)</b>	<b>7,830,000</b>	<b>7,830,000</b>	<b>0</b>		



LCA 日本フォーラム会費規則

本細則は平成 22 年 12 月 10 日制定の LCA 日本フォーラム規約（以下「原規約」という。）第 6 条に規定する会費の細則を定める。

（会費の構成）

第 1 条 会費構成は「LCA 情報提供・交流活動」および「データベースの維持」に係わる基本経費並びに「データベースの利用」に係る利用経費で構成する。

（登録企業会員の設定）

第 2 条 工業会Ⅱ会員は工業会傘下のデータベース利用会員を登録企業会員として 10 企業まで設定できる。

- 2 第 3 条の定めに係わらず工業会Ⅱ会員の登録企業会員が 10 企業を超える場合はその会費額を追加 1 登録企業会員ごとに 50,000 円を加算した額とする。但し、追加登録企業の従業員数が 300 人未満の場合は 30,000 円を加算した額を選択できるが、この場合第 5 条の DB 利用者は 2 名までとする。

（会費）

第 3 条 原規約第 4 条に定める会員種別ごとに年会費を次のように定める。

- ① 工業会Ⅰ会員 : 年会費 100,000 円
- ② 工業会Ⅱ会員 : 年会費 400,000 円
- ③ 工業会Ⅲ会員 : 年会費 30,000 円
- ④ 団体等会員 : 年会費 80,000 円
- ⑤ 学術組織（学会）会員 : 年会費 100,000 円
- ⑥ 優先企業会員 : 年会費 50,000 円
- ⑦ 優先企業会員 B(従業員 300 人未満) : 年会費 30,000 円
- ⑧ 工業会Ⅱ登録企業会員 : 年会費免除
- ⑨ 一般企業会員 A(従業員 1000 人以上) : 年会費 80,000 円
- ⑩ 一般企業会員 B(従業員 1000 人未満) : 年会費 50,000 円
- ⑪ 一般企業会員 C(従業員 300 人未満) : 年会費 30,000 円
- ⑫ 大学研究室等会員 : 年会費 30,000 円
- ⑬ 個人会員 : 年会費 13,000 円
- ⑭ 特別会員 : 年会費 運営委員会で定めた金額

2 前項⑤の学術(学会)組織は同組織を構成する個人のデータベース利用者の利用料を毎年まとめて納入するものとし、そのデータベース利用料は一人につき各年 7000 円とする。

3 第 3 条 1 項⑥～⑪の企業の関係会社において、同組織として認められる範囲は、完全子会社までとする。

（期間及び期中入会）

第 4 条 年会費の対象期間は毎年 4 月 1 日より始まる会計年度とする。

2 期中入会に関しての会費は年会費全額とする。

（登録と会員 ID およびパスワード）

第 5 条 会員は ID・パスワードを必要とする個人名にて登録するもの（以下「DB 利用者」という。）とし、ID・パスワードは DB 利用者に対し 1 本発給する。

2 工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、学術組織（学会）会員、及び工業会Ⅲ会員の事務局は 1 名を DB 利用者とする事が出来る。

3 工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、学術組織（学会）会員、及び、個人会員を除く会員要望により 6 名まで DB 利用者とする事が出来る。但し、一般企業会員 B は 4 名まで、優先企業会員 B と一般企業会員 C は 2 名までとする。

4 学術組織（学会）会員は、前記第 3 条 2 項に記載されたデータベース利用料を納付することを条件に、当該組織を構成する個人の要望により DB 利用者とする事が出来る。

5 個人会員は当該個人を DB 利用者とする。

（その他）

第 6 条 本 LCA 日本フォーラム会費規則の規定に定めること以外の問題が生じたときは運営委員会にてその対応を検討するものとする。

付則 本細則は平成 16 年 4 月 23 日 から適用する。  
本細則は平成 17 年 4 月 1 日より改定適用する。  
本細則は平成 19 年 4 月 1 日より改定運用する。  
本細則は平成 22 年 12 月 10 日より改定運用する。  
本細則は令和 5 年 6 月 29 日より改定運用する。

付則 2 平成 22 年 12 月 10 日時点で解散する日本環境フォーラムの会員のうち LCA 日本フォーラムに属していない会員に対する経過措置  
平成 22 年 12 月 10 日で解散する日本環境効率フォーラム会員に対する会費の経過措置として平成 23 年度から平成 25 年度を移行期間と定め、従前の日本環境効率フォーラムの会員区分の会費を適用するものとする。なお、当該期間経過後は本規則第 3 条に定める会員区分の会費を適用するものとする。

## 令和5年度LCA日本フォーラム運営委員会 名簿

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	玄地 裕	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	研究部門長
2	副委員長	田村 潤一	一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術・環境部	部長
3	副委員長	深井 泰雄	三菱電機株式会社	環境推進部 エネルギー・エコデザイングループ	専任
4	委員	足立 芳寛	東京工科大学		客員教授
5	委員	平尾 雅彦	東京大学	先端科学技術研究センター	特任研究員
6	委員	松野 泰也	千葉大学大学院融合理工学府	先進理化学専攻	教授
7	委員	伊坪 徳宏	早稲田大学	創造理工学部 環境資源工学科	教授
8	委員	水谷 広	社会地球化学研究所		主任研究員
9	委員	大須賀 竜治	一般社団法人日本自動車工業会	安全・環境領域 二部	部長
10	委員	奥田 篤	一般社団法人日本ガス協会	企画部エネルギー・環境グループ	マネジャー
11	委員	中原 靖	一般社団法人日本自動車部品工業会	技術部	次長
12	委員	木村 司	一般社団法人電子情報技術産業協会	事業戦略本部 グリーンイノベーション部	部長
13	委員	佐藤 学	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
14	委員	濱田 信明	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会	環境部	担当部長
15	委員	上原 実	一般社団法人日本産業機械工業会	産業機械第1部 兼 技術部	部長代理
16	委員	吉岡 健一郎	一般社団法人日本建設業連合会		常務執行役
17	委員	青木 尚樹	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	統括リーダー
18	委員	清水 義則	一般社団法人日本ガス石油機器工業会		事務局長
19	委員	加納 幸彦	一般社団法人日本アルミニウム協会		理事
20	委員	杉戸 豊	石油化学工業協会	業務部兼技術部	課長
21	委員	船木 恵司	石油連盟	技術環境部	グループ長
22	委員	志田尾 耕三	電気事業連合会	立地電源環境部	副部長
23	委員	根村 玲子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会		環境委員会 委員長
24	委員	寺田 博文	株式会社日立製作所	サステナビリティ推進本部環境部	部長代理
25	委員	小林 由典	株式会社東芝	技術企画部 技術戦略室 共創企画担当	エキスパート
26	委員	石川 鉄二	富士通株式会社	総務本部 環境統括部 環境デザイン部	エキスパート
27	委員	内藤 泰裕	キヤノン株式会社	サステナビリティ推進本部 環境技術部 LCA・環境技術課	課長
28	委員	原 美永子	日本電信電話株式会社	宇宙環境エネルギー研究所 レジリエント環境適応研究プロジェクト ESG経営科学技術グループ	主幹研究員 (グループリーダー)
29	委員	内野 泰明	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	企画官

## 令和5年度LCA日本フォーラム LCA/DB委員会

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	松野 泰也	千葉大学大学院融合理工学府	先進理化学専攻	教授
2	副委員長	磯原 豊司雄	日本製鉄株式会社	技術総括部	部長代理
3	委員	原田 幸明	一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構 / 国立研究開発法人物質・材料研究機構		代表理事/名誉研究員
4	委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門 IDEAラボ	IDEAラボ長
5	委員	醍醐 市朗	東京大学 先端科学技術研究センター	高機能材料分野	准教授
6	委員	小西 章夫	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
7	委員	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部	担当次長
8	委員	細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	
9	委員	棚橋 昭	株式会社デンソー	安全衛生環境部	担当部長
10	委員	金子 一彦	株式会社荏原製作所	リスク管理部 環境推進課	課長
11	委員	平河内 里美	一般社団法人日本ガス協会	企画部エネルギー・環境グループ	
12	委員	小安 克幸	一般社団法人日本アルミニウム協会	環境・安全部	主査
13	委員	岩切 繁樹	塩ビ工業・環境協会	環境・広報部	部長
14	委員	谷 俊二	日本鋳業協会	技術部	次長
15	委員	竹生 博	JFEスチール株式会社	環境防災・リサイクル部	部長
16	委員	瀧ヶ崎 薫	前田建設工業株式会社	ICI総合センター	主幹

## 令和5年度LCA日本フォーラム情報企画委員会

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	伊坪 徳宏	早稲田大学	創造理工学部 環境資源工学科	教授
2	委員	菊池 康紀	東京大学	未来ビジョン研究センター	准教授
3	委員	中西 大悟	一般社団法人プラスチック循環利用協会	調査研究部	環境影響評価部長
4	委員	並河 治	株式会社日立製作所	システム&サービスビジネス統括本部 環境推進本部	主管技師
5	委員	木村 祐一	株式会社リコー	ESG戦略部	スペシャリスト
6	委員	開澤 香澄	旭化成株式会社	サステナビリティ推進部	担当部長
7	委員	柴田 あゆみ	大日本印刷株式会社	包装事業部 IPC製品開発本部 開発製品拡散推進部 価値拡大チーム	
8	委員	小笠原 満	トヨタ自動車株式会社	環境エンジニアリング部	主任
9	委員	柳田 康一	CLOMA事務局(花王株式会社)		技術統括

令和5年度 LCA日本フォーラム表彰選考委員会

(順不同・敬称略)

No		氏名	所属・役職		
1	委員長	足立 芳寛	東京工科大学	客員教授	
2	副委員長	岡村 隆吉	太平洋セメント株式会社	常務執行役員	
3	副委員長	内山 洋司	一般社団法人日本エレクトロヒートセンター/ 筑波大学	代表理事 会長/ 名誉教授	
4	委員	長谷川 雅巳	一般社団法人日本経済団体連合会	環境エネルギー本部長	
5	委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
6	委員	井上 渉	日刊工業新聞社	執行役員 編集局長	
7	委員	村上 千里	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員 協会(NACS)	環境委員会	理事
8	委員	堂脇 清志	東京理科大学	理工学部 経営工学科	教授
9	委員	内野 泰明	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	企画官
10	委員	星野 岳穂	東京大学大学院工学系研究科	マテリアル工学専攻	特任教授

令和5年度 LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	成田 暢彦	愛知学院大学	総合政策学部	非常勤講師
2	委員	中畠 道靖	関西大学	商学部	教授
3	委員	宇郷 良介	湘南工科大学	工学部 人間環境学科	教授
4	委員	芝池 成人	東京工科大学名誉教授		
5	委員	本下 晶晴	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門持続可能システム 評価研究グループ	研究グループ長
6	委員	根村 玲子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員 協会		環境委員会 委員長
7	委員	青木 良輔	Office RECHO		
8	委員	増野 圭輔	経済産業省	産業技術環境局 環境経済室	

令和5年度LCA日本フォーラム JLCA-DB海外対応WG

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部	担当次長
2	委員	磯原 豊司雄	日本製鉄株式会社	技術総括部	部長代理
3	委員	柵橋 昭	株式会社デンソー	安全衛生環境部	担当部長
4	委員	横山 亮	TDK株式会社	サステナビリティ推進本部 安全環境 グループ	課長
5	委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門 IDEAラボ	ラボ長
6	委員	古島 康	みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社	サステナビリティコンサルティング第1部	席主任コンサルタント
7	委員	正嶋 宏一	TCO2株式会社		代表取締役





## LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとす。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
  - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
  - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
  - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
  - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
  - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
  - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
  - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問)

第8条の2 このフォーラムに、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、学識経験者又はこのフォーラムに功労のあった者のうちから、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、このフォーラムの運営に関して会長の諮問に答え、又は会長に対して意見を述べる。
- 4 顧問の任期は、2年とする。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
  - (2) 副委員長 1名
  - (3) 委員 20名程度
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の内から会長が選任する。
  - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
  - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
  - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
  - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、一般社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

## 附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年4月1日より施行する。
4. この規約の改正は、令和3年4月1日より施行する。